

大学院教育における理念

Educational Philosophy

人文社会科学の最先端をリードする研究者の養成

To Cultivate Researchers Who are at the Forefront of the Arts and Social Sciences

幅広い国際感覚と高い外国語運用能力を備えた人材の養成

To Foster Human Resources with an Extended Range of International Perspectives and Superior Language Proficiencies

社会人に対する高度な専門教育の提供

To Provide Advanced Professional Education to Adult Learners

世界に開かれた大学院教育と国際的な学術交流の促進

To Promote Graduate Education Open to the World and International Academic Exchange

大学院教育目標

Educational Objectives

(修士課程)

修士課程論文コースにおいては、広く深い学術的知見の獲得と問題発見・解決能力の育成を目指す。

修士課程課題研究コースにおいては、当該分野の学術動向の把握、広範な学識の習得、ないし深い異文化理解を目指す。

(博士課程)

博士課程においては、従来の学問領域を学際的視点から再構築する、独創性と創造性を兼ね備えた研究者の育成を目指す。



大学院アドミッションポリシー

Admission Policy

時代が大きく移り変わるなか、これまで世界を支えてきた秩序、体制が揺ぎ、新たな国際環境が生まれつつあります。絶えず変化する環境のなかで、それに応じた人材が社会に必要とされる一方、人文社会科学の価値も問い直される時期にきています。

本学では、こうした時代と社会の要請に応え、新しい知の体系の創造を担うことのできる幅広い学識と国際感覚を有する学術研究者・教育者、および高度専門職業人の育成を教育の基本方針とし、修士課程と博士課程を設置しています。

大学院入学者選抜試験では、人文社会科学の各分野における専門的知識を有するとともに社会が直面する課題に幅広い関心を持ち、国際的な場でも活動しうる外国語能力にすぐれた人材を求めます。

大学院学位論文審査基準

Thesis / Dissertation Examination Criteria

(修士論文)

1. 先行研究の取扱いなど学術研究における倫理性が保たれているか。
2. 問題設定と結論が明確に示され、論述の構成は説得力を持っているか。
3. 全体として、学術的意義を有するものと認められるか。

(課題研究)

1. 先行研究の取扱いなど学術研究における倫理性が保たれているか。
2. 課題設定及び研究方法は適正なものであるか。
3. 全体として、学術的あるいは実用的意義を有するものと認められるか。

(博士論文)

1. 先行研究の取扱いなど学術研究における倫理性が保たれているか。
2. 優れた学術的意義、新規性、先進性、独創性などを有しているか。
3. 研究分野に対し優れた学術的貢献をするものであるか。

- 名称** 神戸市外国語大学大学院 外国語学研究科
- 位置** 神戸市西区学園東町9丁目1
- 沿革**
- 1967年 大学院外国語学研究科修士課程を設置(英語学、ロシア語学、中国語学、イスパニア語学の4専攻)
 - 1986年 神戸研究学園都市の現学舎に全学移転
 - 1991年 外国語学研究科修士課程に国際関係学専攻及び日本語日本文化専攻を増設
 - 1996年 外国語学研究科博士課程文化交流専攻を設置
 - 1999年 外国語学研究科修士課程日本語日本文化専攻を日本アジア言語文化専攻に名称変更
 - 2004年 外国語学研究科修士課程に英語教育学専攻を増設
 - 2010年 東京外国語大学との合同セミナーを開始
 - 2014年 外国語学研究科修士課程に新たな履修コース(課題研究コース)を設置

組織図
Organization
Diagram

